

合同防災キャンプ2016 実施内容 —事後研修の開催—



東京都庁第一本庁舎5階 都庁大会議場	平成 28 年 9 月 22 日 (木・祝)
8:50	受付開始・開場
9:30	研修開始、事務局からの説明
9:40	宿泊研修の振り返り (グループ協議)
10:25	防災士養成講座 [10] 「身近でできる防災対策」
11:30	防災士養成講座 [11] 「災害とボランティア活動」
13:20	防災士養成講座 [12] 「気象災害」
14:25	防災試験対策講座
14:25	自主学习
15:00 ~ 16:00	防災士資格取得試験

宿泊研修振り返り（グループ協議）



宿泊研修を振り返り、①宿泊研修を通して学んだこと、②学んだことや経験したことを、今後どう生かそうと考えるかについて、グループごとに話し合い、整理し、共有しました。

- 「テレビや新聞では見たり聞いたりできないことも、現地へ実際に行くことで経験できる。現地で得た経験を周りの人に伝え、この大震災を風化させないことが大切だと思った」
- 「現地へ行く前に知っていたことよりも、現地の人の話を聞くと、震災の被害はとても大きく、重いと感じた。お話しくださった被災地のほとんどの人が、“生き残ることの大切さ”を語ってくれた。私たちが今回体験したことを、もっと多くの人たちに伝えていく。そして災害が起きる前に、家具の固定等、自分の身近なところから対策していこうと思う」
- 「東日本大震災での、東北（宮城）と東京の被害はそれぞれ違っていたことを改めて知った」
- 「テレビや新聞等で現地の様子を見聞きし、悲しい気持ちはあったが、本当の大変さは、実際に被災地に行き、話を聞くまで実感できていなかったことに気づいた。防災庁舎が骨組みだけになっていたり、建物がもう余りなかったりして、大変なことが起きたのだということを痛感した。また、今は穏やかな海を見ていると、あんなに恐ろしい津波を起こすんだなと思い、怖くなった。現地の方と会い、元気をもらった。あんなに大変なことを経験しているのに、前向きに、元気に取り組んでいて、私たちもがんばらなきゃならないと思った。震災は他人事ではないということも学んだ」

各グループのリーダーが、上記のようなみんなの意見を、代表して発表しました。



防災士養成講座（講義）

[10] 「身近でできる防災対策」

危機管理アドバイザー、危機管理教育研究所 代表 国崎 信江氏

[11] 「災害とボランティア活動」

元横浜市消防局消防監、社会貢献学会 理事 秦 好子氏

[12] 「気象災害」

NHK ラジオ気象キャスター、日本気象学会天気予報研究連絡会委員 伊藤 みゆき氏



防災士養成講座の3講座が開催されました。被災地での体験も踏まえ、自分たちの身近でできる防災や、ボランティア活動の重要性と、災害全般に関して聴講しました。

防災士資格取得試験の実施



この日、防災士資格取得試験が実施されました。

7月に開催された事前学習、8月の宿泊研修、そして9月の試験当日に行われた防災士試験対策講座や自主学習を経て、試験に臨みました。

